

美しい富士山を、未来の子どもたちに

# ふじさんネットワーク

FUJISAN NETWORK

2022.11

vol.

65

## 巻頭インタビュー

# 森は単体の自然ではなく、 山や川や人の暮らしまで 全て繋がっている。

合同会社森のたね 代表社員

井戸 直樹さん

令和4年度 ふじさんネットワーク総会の開催

富士山エコレンジャー連絡会の活動

令和4年度 第1回 富士山ごみ減量大作戦

根原県有地の草原維持

富士山の恵みの水 柿田川自然観察会

外来植物撲滅大作戦Iの実施について

美しい富士山を、未来の子どもたちに

ふじさんネットワーク

2022.11  
vol. 65

Welcome



Join Us

# 「ふじさんネットワーク」 会員募集中!

Check!

「ふじさんネットワーク」は、その活動を通じて、富士山を国民の財産として、世界に誇る日本のシンボルとして、後世に引き継いでいくことを目的とします。富士山の環境保全活動を行うグループ、自然保護団体、NPO、企業、マスコミ、行政等による会員制のネットワーク組織ですが、富士山を愛する人なら個人でも登録ができます。



「ふじさんネットワーク」の取り組みなどはホームページから見る事ができます。

<http://www.fujisan-net.gr.jp/>

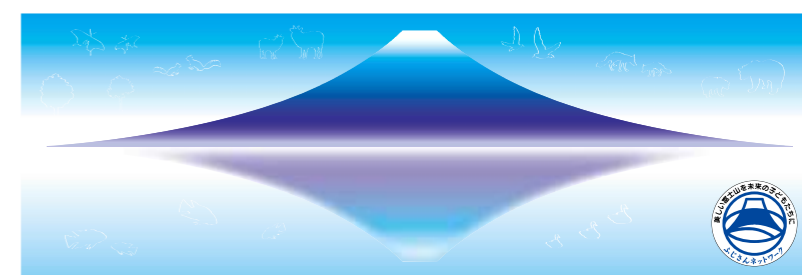
入会費  
年会費  
無料

特典

- 「ふじさんネットワーク」の冊子が届きます
- イベント情報をいち早く入手できます
- シンボルマークが使えます

寄付していただいた方に  
**オリジナル記念品**  
を差し上げています

「富士山総合環境保全指針」と行動規範としての「富士山憲章」の周知・定着を図り、富士山の環境保全への関心を高めてもらうため、ふじさんネットワークの環境保全活動への寄付を募るとともに、記念品を差し上げています。



**NEW 新寄付記念品 手ぬぐい「鏡富士」**  
■サイズ:(約)35cm×90cm ■綿100% ■1口:1,000円以上

ピンバッジもぜひ御利用ください。  
一口300円から気軽にできる寄付です。

高級感のある光沢加工で  
文字はゴールドのピンバッジです。

**SAVE Mt.FUJI**

- ピンバッジ(1個)
- サイズ:直径26mm
- 1口:300円以上



**花シリーズ**

- ピンバッジ(1セット5個組)
- サイズ:1個 1辺33mm
- 1口:1,000円以上



**富士山の雲シリーズ**

- ピンバッジ(1セット4個組)
- サイズ:1個 直径32mm
- 1口:1,000円以上



直接受取希望: ふじさんネットワーク事務局まで、事前に御連絡をいただき、受取希望日時をお伝えください。  
寄付をいただいて、同時に記念品をお渡します。(TEL 054-221-3498)

送付希望: QRコードを読み込み、HPの寄付専用申込フォームにて申請してください。もしくは、郵便、電話、FAXまたはメールで①～⑤の事項をお知らせください。①名前 ②住所 ③電話番号 ④寄付金額 ⑤希望する種類・個数  
振込用紙を住所へ送付します。振込の確認ができれば、記念品を送付します。(振込手数料・送料は不要)



ふじさんネットワーク 2022年11月 vol.65

編集・発行 **ふじさんネットワーク事務局**

静岡県くらし・環境部環境局自然保護課内 〒420-8601 静岡市葵区追手町9番6号

電話:054-221-3498 ファックス:054-221-3278

E-mail:3776fuj@pref.shizuoka.jp URL:<http://www.fujisan-net.gr.jp/>

ふじさんネットワーク

- 設立 平成11年10月23日
- 会長 増澤 武弘  
(特定非営利活動法人静岡自然環境研究会理事長・静岡大学客員教授)
- 会員数 566団体・個人(令和4年10月24日現在)

※本書の作成には、マックスパリュ東海株式会社からの寄付金が使われています。



美しい富士山を、未来の子どもたちに

# ふじさんネットワーク

FUJISAN NETWORK

2022.11

vol.  
**65**

## CONTENTS

- 03 〔巻頭インタビュー〕  
森は単体の自然ではなく、  
山や川や人の暮らしまで全て繋がっている。  
合同会社森のたね 代表社員  
井戸 直樹さん
- 05 令和4年度 ふじさんネットワーク総会の開催  
富士山エコレンジャー連絡会の活動
- 06 令和4年度 第1回 富士山ごみ減量大作戦  
根原県有地の草原維持
- 07 富士山の恵みの水 柿田川自然観察会  
外来植物撲滅大作戦Iの実施について
- 08 「ふじさんネットワーク」  
会員募集中!

表紙の写真



富士山と朝焼け

出典「Photo AC」

## 富士山憲章 (行動規範)

1. 富士山の自然を学び、親しみ、豊かな恵みに感謝しよう。
1. 富士山の美しい自然を大切に守り、豊かな文化を育もう。
1. 富士山の自然環境への負担を減らし、人との共生を図ろう。
1. 富士山の環境保全のために、一人ひとりが積極的に行動しよう。
1. 富士山の自然、景観、歴史・文化を後世に末長く継承しよう。

静岡県・山梨県

### 巻頭インタビュー



合同会社森のたね  
代表社員

## 井戸 直樹さん

### Interview

# 森は単体の自然ではなく、 山や川や人の暮らしまで全て繋がっている。

#### 二面性のある自然

昔から山や川に入って遊んでいたことが多く、海と山と川、自然は全て繋がっていると自然と戯れながら感じていました。私たちの活動は主に森づくり活動が中心となります。森づくりには、多様な自然環境が開わるため、林業や里山整備などの森林保全活動にはじまり、狩猟を含めた野生動物対策、森林資源の利活用、自然体験や森林環境教育などの人づくり、漁業など、多岐にわたります。領域は広いですが、森の自然というものは山があり、川があり、そして海に繋がっているため、森づくり活動はさまざまな取り組みが必要となります。森なら森、山なら山、



のこぎりでの伐採体験の様子

#### 一次産業のリアルを伝える難しさ

川なら川と、それぞれ単体で考えることが多いかもしれませんが、健全な森が清らかな水をつくり、その水が湧き出して川となり、川の水が海へ流れて、全てが連動しています。そしてそこに私達人間の暮らしがあり、自然の恩恵を受けています。しかし、自然への畏れも忘れてはいけません。自然の魅力は私達人間に恵みを与えると同時に天候の急激な変化や天災などで牙をむくこともあります。常に表裏一体なのです。

森や山のことを知れば知るほど、そこには多くの課題が見つかります。そして、直接その自然と関わりこととなる一次産業に従事する人が年々減少しています。私たちは、環境教育や自然体験活動により一次産業の魅力伝えること、そして自ら、林業や漁業や狩猟に従事して、そのリアルを学ぶことを大事にしています。そこには、資源の減少、野生動物の増加、気候の問題、環境の変化、人間生活とのバランス、政策による自然への影響等さまざま



駿河湾から見る富士山

まな要因が絡み合っています。まずは、その環境を正しく理解し、資源の状態を捉え、バランスを上手に保つことが必要になるのではないかと思います。生態系は、生産→消費↓分解という循環の流れですが、分解の役割に課題が多く存在します。この課題を解決できたらと考えていますが、なかなか明確な答えは出ません。一次産業の魅力と課題を伝えることは本当に難しいことだと痛感しています。

#### 自然とかわかることは文化の継承にも繋がっている

県内外に向けて、森林環境教育や自然体験を行う機会が多くあります。県内の大学において、数年にわたり自然体験実習を担当し

ロッククライミングを楽しむ筆者





ていますが、その実習で大学生に鹿の解体や鹿皮を鞣す工程の体験を提供しています。大学生の反応は、血を見る、においがする、感触がグロテスク等さまざまな感想を持ったようです。リアルな自然に触れることに前向きな学生もいる一方で、「こんなリアルなものではなく、自然と距離のある人工のも

のでいいじゃないか。」という学生もいました。それぞれが自分の認識を深めてくれたように思いますが、植樹や野生動物を保護することに関しての認識は高い反面、木を伐採することや野生動物を殺すこと、自然の恵みを暮らして活かしていく認識や理解は低い部分もあるようです。私は、恩恵を受



富士山麓に眠る洞窟を案内の様子



葉っぱを使って植物や森の話をする様子

けることや保護することを含めた自然との関わりを常に持つていないと、この先困ったことになると思います。鹿革が良い例ですが、鹿を狩らなくなると、鹿の捕り方を知る者がいなくなり、ひいては鹿革を鞣すやり方さえ後世に遺すことができなくなります。私たちの祖先が遺してくれた大切な文化が二つ途絶えることになってしまいます。

### 富士山麓の森を元気にしたい

私が取り組んでいる森林保全活動や環境教育にもまだまだやりたいことが沢山あります。現在ス

タッフが2名で、多岐に渡る活動を行っているため、内容ごとに専門家と協力しながら活動を続けています。継続的に、企業やNPO団体に森づくり活動の支援を行っており、ネットワークを作りながら、富士山麓での森づくりや自然体験活動をすすめています。私たちの活動はまだまだ小さい活動ではありますが、多くの人と一緒に森の中で過ごす機会をご一緒にしたいと思います。

また、富士山麓の森づくりは、私たちの拠点である富士宮だけでなく、静岡県内、さらには東京都内まで、いろいろな経験や考えを持った方が連携して知恵を出し合うことが、今後の活動をさらに活性化させる要素だと考えています。



積極的に情報発信を始めている。(森のたねイベントチラシと案内冊子)

### 井戸直樹氏 合同会社森のたね 代表社員

環境リサイクルプラントメーカー勤務後、自然ガイドを経て、2010年から森のたねの活動を開始。2017年、静岡県森づくり大賞を受賞。現在、富士地域森林県民円卓会議運営委員、全日本鹿協会理事、富士宮猟友会分会長に就任。自然ガイドとして森の愉しさと課題等を伝えていたが、自分が経験しないと本当の意味で説明ができないと農林漁業に従事して経験と知識を積み現在に至る。



## 令和4年度 富士さんネットワーク 総会の開催

令和4年度のふじさんネットワーク総会が、6月19日(日)に沼津市のプラザヴェルデにおいて開催されました。正会員258団体のうち、出席26団体、委任状提出117団体の計143団体の参加により総会は有効に成立し、令和3年度収支決算、令和4年度収支予算案等すべての議案が承認されました。

また、今年度に富士山エコサポーターに登録される2名に対して、増澤会長から登録証が手渡され、励ましの言葉が送られました。



増澤会長から富士山エコサポーター2名に励ましの言葉

総会終了後は、令和3年度に幹事に就任した4団体の代表者(ホールアース研究所・山崎宏氏・森のたね・井戸直樹氏)「富士山エコレンジャー連絡会」吉永耕一氏



「富士自然観察の会」小澤緑氏(各団体を紹介する発表会を行いました。環境教育や農林業、富士山周辺の来訪者への啓発等、それぞれの団体の活動について聞いていただいたことで、参加者にも団体の特徴や長所が伝わったものと思います。



今後、更にふじさんネットワーク内外の連携を強め、富士山を保全する活動が活発に行われていくことが期待されます。



幹事による団体の活動発表

## NEWS × COLUMN × REPORT



## 富士山エコレンジャー 連絡会の活動

富士山エコレンジャー連絡会(以降、連絡会)の総会は、令和2年度、3年度は書面開催でしたが、令和4年度は3年振りに対面で開催することができました。



合同環境パトロール前のミーティング

総会の議事として、令和3年度の活動報告や令和4年度の活動計画、役員改選等について承認されるとともに、今年度富士山エコサポーターに登録される2名の方に自己紹介と今後の抱負を話していただきました。

新型コロナウイルス感染症の感染防止対策に配慮しつつ、4月から10月までの間も合同環境パトロールを開催し、富士山自然休養林周辺から山頂まで、登山

者への啓発活動や自然環境の調査等の活動を行っていただきました。

富士山エコサポーターから富士山エコレンジャーになるための富士山エコレンジャー養成研修は、新型コロナウイルス感染者数が多かった年度前半を避け、年度後半に行います。今後も座学や現地での研修を重ねて、富士山に関する知識と経験をj得て、来訪者へのマナー啓発や現地の巡視など、富士山の自然を守る活動を行っていただきたいと思ひます。

富士山の自然環境の保全活動にご興味がある方は、是非ふじさんネットワーク事務局までご連絡ください。



遊歩道をふさぐ倒木





## 令和4年度 第1回富士山ごみ減量大作戦

富士山ごみ減量大作戦は、ふじさんネットワーク、静岡県、地元市町及び静岡第一テレビ24時間テレビチャリティ委員会との共催で実施しており、令和4年度の第1回目を6月18日(土)に富士市桑崎で開催しました。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、一般ボランティアは募集せず、関係者のみでの実施となりました。



側溝のごみ拾いの様子

参加者21名で富士山こどもの国付近の道路(国道469号)沿いを清掃し、約40kg(可燃ごみ30kg、不燃ごみ10kg)のごみを回収しました。



路肩のごみ拾いの様子



新型コロナウイルス感染者数が減少し、ボランティアの皆様の参加募集が可能になりました。開催のお知らせをしますので、その際は御協力いただくと幸いです。

み拾いを行うタイミングにより様々ですが、ごみは捨てられ続けており、お菓子の包装やタバコの吸い殻等の小さいごみから、廃タイヤや電化製品等の大型のごみまで、多様なものが捨てられています。



## 富士山の恵みの水 柿田川自然観察会

令和3年度は新型コロナウイルス感染症対策のために開催を見送りましたが、令和4年度は感染防止対策に留意しての実施となりました。



観察会の様子

例年同様、公益財団法人柿田川みどりのトラスト及び柿田川自然観察の会を案内役として迎え、8月20日(土)に実施しました。家族を対象に募集を行い、多くの方々に御参加いただきました。柿田川みどりのトラストの漆畑会長(ふじさんネットワーク副会長)から、柿田川の自然についての説明後、ミシマバイカモ等の貴重な植物は採取せず、その



場での観察だけにとらいたくないことや、昆虫や魚類等の生物は、捕まえて観察した後は、必ず放流して欲しい、というお願いがありました。

参加者は川に入り、タモで魚やモクズガニ、ヌマエビなどの様々な生物をつかまえ、バケツに入れて観察していました。以前は、動植物を水槽に集めて観察していたのですが、今年度も密集を避けるために実施しませんでした。

夏の日差しの下でしたが、冷たい湧水に入りながら自然観察ができ、参加者の皆様にとって、思い出に残る夏の体験になったのではないのでしょうか。



捕まえた生物の観察

## NEWS × COLUMN × REPORT



## 根原県有地の草原維持

富士山麓の特徴的な自然景観の一つとして、広大な草原が挙げられます。朝霧地区の草原は、静岡県版レッドデータブックの「今守りたい大切な自然10選」にも指定されている貴重な場所です。



草刈作業中

富士宮市根原の根原県有地は、朝霧地区の草原の一部として、数百種類の植物をはじめ、鳥類や昆虫類等、様々な動物の生活の場となっています。

草原の状態を維持し、草原特有の生態系を保全するためには、人為的に管理を行う必要があります。根原県有地でも草刈りが続けられてきました。

令和4年度の草刈りが、特定非営利



作業道草刈り後

活動法人富士山自然の森づくりの皆様によって9月から行われています。今年は梅雨から夏にかけての天候の影響か、草丈が高く作業が大変のようです。令和3年度に引き続き令和4年度も、10月29日(土)に、常葉大学社会環境学部とのゼミ合同演習で、皆様に草刈りを行っていただきました。また、11月3日(木・祝)には、ボランティアの皆様に参加いただき、富士山草原性植生保全活動体験を行いました。

皆様の参加や理解を得ながら草原性植生の保全を進めていきたいと考えておりますので、来年度以降も参加者募集の際には、是非参加をご検討ください。



## 外来植物撲滅大作戦1の 実施について

今年度第1回目の外来植物撲滅大作戦を、7月3日(日)に水ヶ塚駐車場で行いました。



参加者の除去作業状況

講師には(株)環境アセスメントセンターを迎え、16人が参加して外来植物の除去を行いました。

一見すると菜の花のように見える『ハルザキヤマガラシ』という外来植物が、この周辺では分布を拡大しています。元はヨーロッパの山地に生育している種類のため、比較的寒さに強く、富士宮口の五合目付近でも発見されており、注意が必要な種類だと考えられます。

水ヶ塚駐車場では、令和2年度に行



除去作業後の計量

政職員等の関係者による外来植物除去活動が行われており、『ハルザキヤマガラシ』をはじめとした外来植物が以前よりも減少しているのが視覚的にわかる状態の所もあります。今回除去したことによって、更に減少することが期待されます。

亜高山帯以上に生育する希少種を守るためには、このような外来植物が、五合目以上に持ち込まれないよう、分布拡大の最前線や、種子の供給源になり得る場所の除去を行う必要があります。今後も、撲滅大作戦等とおして、外来植物対策の普及啓発を行ってまいりますので、皆様も御協力お願いいたします。